

日刊岩手建設工業新聞

「しん」
録を読めば、各
場を勝手なこ
たよつてもある
の時考えられる
現状と期待を話
で、恐つてゐる。
の事業費の減額は
少くない。しか
え、よつた建設
ほ、まのなかは、
ル、鮮明との思いが
なつて表れた。
つ、以前に開催され
を、地域懇談会
階、皆えない公共工
疲、地元が受注
度に変えなけ
んはますます悪
活、

「地域振興施
ト」を管外の業者
「」のでは意味が
が、はないか、
特に機関の幹部が
は、元企業が施工
理、ターケアも地
が、任組みが望ま
昭、工事費大幅
が、の問題点が同
て、として発せら
間、

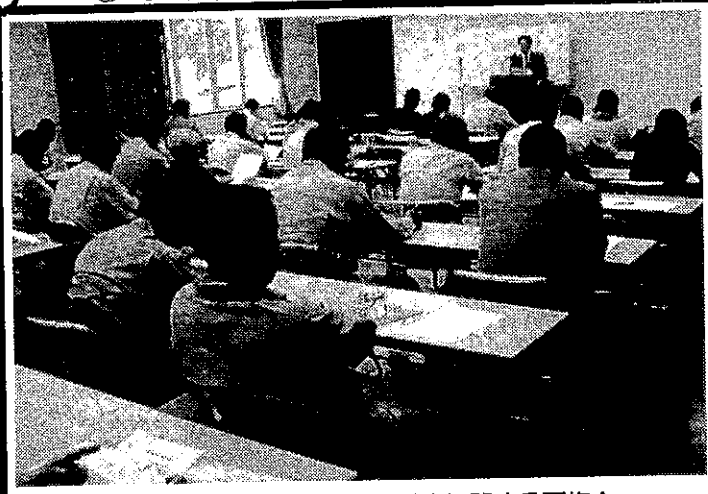
大企業の経営
手、の相棒は「田舎
い、どんな産業
営、努力には限り
当期、政策が定まら
社、と、都会の片
ぶ、な声で話す。
「肢の少ない建
つ、大業努力とそ
小、いかなるもの
い、えせせられる
業、の

(宮野)

法令順守強化に向け 体制整備の留意点学ぶ

建設協会で
独禁法研修

県建設業協会釜石支
部(青木正紀支部長)主
催による「独占禁止法
遵守に関する研修会」
が9月30日、釜石市平
田の釜石・大槌地域産
業育成センターで行わ
れた。講師が独禁法の
改正内容や、コンプラ
イアンスマニュアル作
成時の留意点などを説
明。会員らは、法令順
守体制の充実に向け、
マニュアル作成のポイ
ントなどを学んだ。
当日は支部会員約40
人が出席。はじめに青
木支部長は、「建設産
業に対する県民、発注
者の信頼を取り戻すた
めにも、不祥事の再発
防止、コンプライアンス
体制の整備は急務の
課題となっている。こ



釜石で行われた独占禁止法遵守に関する研修会

の研修会で学んだこと
を各社とも社員教育に
生かしてもらいたい」
とあいさつした。
研修会では、講師の
財団法人公正取引協会
事務局の三宅一秀次長
が「独占禁止法遵守に
ついて」解説。はじめ
に05年と09年の独禁法
改正の状況が紹介さ
れ、課徴金減免制度が
導入されたことや、ペ
ナルティの強化が図ら
れていることなどが示
された。

戒規定などの必要性を
指摘した。
マニユアル作成時の
留意点としては、「借
り物のマニユアルでは
意味がない」とし、各
社の身の丈に合った、
具体的、実践的な内容
にするよう助言。企業
理念を明確に掲げるこ
とや、課徴金減免制度
の説明、同業他社との
接触に関する社の姿
勢、さらに相談窓口の
確保や内部通報制度な
ど、盛り込む内容につ
いて十分検討するよう
呼び掛けた。

国内は3カ月 ぶりプラスに

8月の大手50社受注
大手50社を対象に国
土交通省が行っている
建設工事受注動向統計
調査によると、8月の
受注総額は前年同月比
0.02%減の6941
億円、1985年4
月の調査開始以来、8
月として最低を記録し
た。6月から3カ月連
続の前年割れが続いて
いるが、マイナス幅は
縮小している。このう
ち国内での受注は同5
.9%増の6886.4億
円で、3カ月ぶりにプ
ラスに転じた。
国内受注のうち公共
機関からの受注は9.
%増の141.0億円
で、7カ月ぶりに増加
した。内訳は、国の機
関が7.5%増の89
億円、地方の機関が

今週の予定

- 4日(月) 県産業安全衛生大会・快適職
場推進岩手大会(13時・県教
育会館)
- 6日(水) 東北地方工事安全施工推進大
会SAFETY2010(13時15
分・仙台市青年文化センター)

注が20
4億円、
407、
からの
一方、一
ビス業
ロジエ
体を押
海外
2%減
た。

ほとんどどの資材
で「横ばい」に
9月の価格動向
国土交通省は9月30
日、9月の主要建設資
材需給・価格動向調査
結果をまとめた。調査
対象の7資材13品目の
価格動向は、ほとんど
が「横ばい」で前月と天
きな変化はなかった。
ただし、アスファルト
合材(新材)は「やや
上昇」に近い。
価格動向を前月と比
較すると、アスファル
ト合材(再生材)は「や
や上昇
24から
形棒鋼
が14か
「やや
4にそ
ずれも
えた。
需給
「石」が
や緩和
ンクリ
利)、
材(新
や「や
が多か
在庫
の資材

度30.1%が 帯か夫婦のみの世帯で 弱いといつ問題に加え

単独世帯